

---

# カオス聖杯戦争

HERO

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

カオス聖杯戦争

### 【Nコード】

N5758Q

### 【作者名】

HERO

### 【あらすじ】

今ここに聖杯戦争が始まるが！？なぜか召喚されるのは別世界の人たちばかりだった！原作崩壊、カオスなこの戦争に勝利し、聖杯を手にするのは一体だれだ。

各キャラの強さは作者の偏見（愛）によって変わるかもしれません

## プロローグ1

今冬木市に

「あなたが私のサーヴァントですか」

「おう！サーヴァントランサー前田慶次！罷り通る！！」

そこには派手な衣装を着ており、手には超刀持った男がいた

「私はバゼット・フラガ・マクレミッツ、よろしく頼みます」

彼が私のサーヴァントになる、

「なあ、あんた恋したことあるかい？」

「？、そんな余裕などありませんが」

「かゝそんなんじゃだめだよ、せつかく別嬪さんに生まれたんだから」

「？？しかしそのようなことをしている暇があるならもっと訓練して強くならなければ」

「堅いねゝそんなに綺麗なのに勿体無いよ」

「私はそんなに綺麗では」そんなことないよ」

「あんたはどつからどう見ても美人さんだよ」

「／／／そんなことはない！！」

混沌とした

「なにがおこったの？」

イリヤスフィール＝フォン＝アインツベルン、この聖杯戦争参加者彼女はサーヴァントを召喚しようとしていたはずだ、

それもただのサーヴァントではなくかの大英雄ヘラクレスを…しかし召喚したものは

(脳内BGM熱情の律動)

「うはwwwwwwおkkkkwwwwwwあなwwたwがwww渡



## プロローグ1（後書き）

皆さん始めまして作者のHEROです

この度は小説を読んでいただき有難うございます。

良いところも悪いところもどんどん指摘してください。  
では次の話で。

## プロローグ2

間桐家

ここにもまた新たなサーヴァントが現れる

桜SIDE

「俺の名前は横島忠夫って言うんや、クラスはライダー、よろしくな！」

「はい？」

目の前の人は自分と同年のような外見をしている。

ジーンズにジャケット、頭にはバンダナが巻いてある。

この人は本当に英雄なのだろうか？

「フム、では桜、令呪を慎二に渡しなさい」

けど私には関係ない、だって「ちよつとまたんかい！」

「ん？」

えっ

「どうゆうことだよ!!！」

「その桜は、戦いが嫌でな、代わりにこの慎二が戦う予定じゃ」

「はあっ!?!」

「不服かの？」

やはりこんなことルール違反なのでしょうが

「あたりまえじゃ〜!! 何が悲しゅうて男の付き人をせにやならんのだ! 桜ちゃんのような美女ならまだしも!!！」

え?!

「ちよつと待てそれは関係なくないか、僕の方がそんな弱虫より「バカヤロウ!」」

「お前も同じ男なら分らないか？お前も召喚されるのが俺のような男より美人のねえちゃんのほうがいいだろう、つまりそれと同じだ」

「うっ！」

「それにな俺の能力はマスターが美女の方が使いやすんだ」

「けど桜は僕より弱いぞ！」

「そう、私は役立たず…」

「あほか、そんなの関係ないわ！（桜の頭をなでる）」

「ふえ！？、暖かい…まるで先輩みたい」

「俺が守れば問題なしじゃ！この横島忠夫にまっかせなさい」

「桜、おぬしはどうしたい？ここで戦うを選択しても良いんじゃないが、わたしは…」

「大丈夫だ、桜ちゃんをしつかり守つたるから…俺の目の前で美女は傷つかせない！」

その時見えた顔はとてもはかなく見えた…なぜかわからない、でもこの人はなにか悲しい経験をしている。

わたしは！

「私、戦います！」

「なっ！？」

「そうかならば桜がマスターじゃな」

「ふざけるなっ！桜のく「こらっ！わかめ！、美女に優しくせんか」

「わかめじゃない、それに女なんて勝手に勝手に勝手によって来る」

「ほう（ピキ#ピキ#）今貴様は全国のもてない男を敵に回した、ブチコロス」

「凄気迫！？」

「ひっ！？」

「もてる男は敵じゃ〜！！」

・  
・  
・

「なあ桜ちゃん」

「はい？」

「絶対守ってやるから」

横島さんは夕日を見ながらそう言った

続く

## プロローグ2（後書き）

皆さん今まで出てきた3人のサーヴァントは何人知っていますか、全員知っているのなら作者と友達になれます。それでは次の話で。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5758q/>

---

カオス聖杯戦争

2011年7月12日06時03分発行